



# ペテロ行

2018年9月1日発行  
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113  
鹿児島市東谷山2-33-13  
TEL 099-268-2084  
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人： 頭島 光 神父 編集委員： 太田勇二郎 Sr.下川千穂子 岸誠之助

## 宇宙の秩序

暑い夏も終わりと言いたい9月ですが、その勢いは一向に納まりそうにもありません。それでも私たちは、キリスト者として変わらず平和を願い、祈り続けましょう。さて、先月はヨハネ 23 世の DVD「地上の平和」を鑑賞しました。教皇様は世界平和をキューバ危機から救い、冷戦に終わりを告げ、さらに現代世界に開かれたカトリック教会とするため第二バチカン公会議を開催しました。この「地上の平和」という回勅は今でも通用する名著と言えます。

### ◇傷つけられた尊厳

かのバチカン公会議から約半世紀が過ぎて、果たしてカトリック教会は現代世界に対して何か強烈な変革ないしは影響を及ぼし得たかを検証するには、まだ時間が足りないかもしれません。しかし、現実世界において今言えることは、宗教というものの果たすべき役割が次第に狭められてきているのが現実ではないだろうか。本来なら様々な場面で傷つけられた尊厳のために、宗教が果たしてきた役割がすでに政治や政策に置き換えられ、救いはすでに人間自身の手委ねられつつあるのではないかということである。

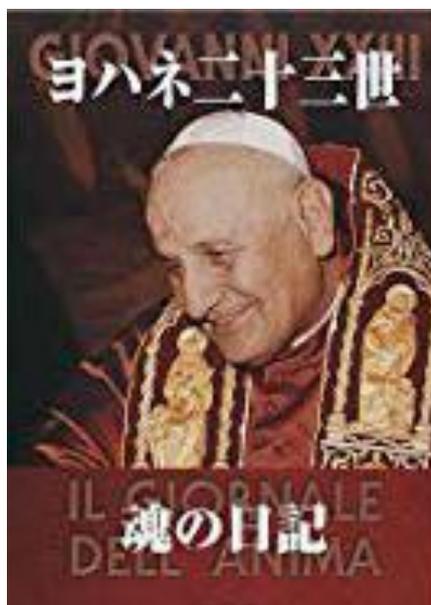
### ◇神の似姿

自然の脅威、猛威の前に人間はかつてなすすべもなかった。また飢餓や病気、また紛争において、世界はより具体的な解決策を今ほど強く持ったことはなかった。すでに宗教に頼らずとも、世界は人間の尊厳を取り戻しつつあり、平和を我が手にすることがもはや時間の問題となってきた感も一方にはある。人知を超えた神の力や霊の存在を信じなくとも、ある程度の幸せ感をもって生きていけると感じられれば、それでよい世界が実にすぐ目の前にあるのでしょう。もはや人が神の似姿であるほどの信仰心は必要とされないものであろうか？

### ◇秩序の崩壊

もし人間が救いの対象でなくなる時が来るとすれば、それはもはや時間の問題である。飢餓や災害、病気や死を持ってすら、人はすでに宗教に救いを求めることなく、政治や為政者の寛大さに求めれば済むのなら、

まさに無宗教、無信仰で十分なことからである。問題はだれがそうした無信仰状態と無宗教の秩序を守り切ることが可能かどうかにある。人間の意志と知性だけで生きられる現代未来世界の根底に秩序感を保たせることは、おそらく人間自身には不可能だからである。



### ◇信仰心の復興

人間は心の有り様として秩序感を植え付けられて生きているものです。もし、知性と意志のみが人間の心と魂を動かすのだと考えれば、それは傲慢の極みであり、これがかつて人間世界を破滅へと導いた先達の愚かさを知るべきである。この命、この世界はすべて無より作り出されたもの、愛されてこそこの命、世界であることを、決して忘れてはならないのである。愛と信仰こそが、世界を救う、命を新たに生み出しうるのである。そのような確固たる信仰の絆を礎に、再び灯が点るようにと祈るばかりである。

主任司祭 頭島 光 神父

今月の聖人から 9月13日

## ヨハネ・クリゾストモ司教教会博士

カトリック教会で、最も有名な説教家の一人として敬われているヨハネ・クリゾストモは、354年にシリアのアンチオキアで生まれた。

当時の貴族の子弟がそうであったように、ヨハネも法律学と弁論術を勉強したが、これが後年の活躍に大いに役立った。素晴らしい弁舌のために、人々は彼に「クリゾストモ」すなわち「金の口」という名を与えたのだった。

彼は初め隠遁生活を望んで6年間すごした後、アンチオキアに帰って司祭となり、自分に志に反して398年コンスタンティノープルの総大司教に選ばれた。当時の社会は道徳が乱れていたため、聖職者・民衆の如何を問わず、清い生活をするように説教した。

しかし、教会の内外におけるヨハネの敵は、403年司教会議により彼を追放するように計画した。総大司教の任務を解かれたヨハネはアルメニアに送られたが、そこで沢山の手紙や説教を書いた。「死は安息であり、労働と世間の悩みからの解放である。あなたの家族の一人が亡くなっても絶望してはいけない。」



## Taniyama CC NEWS

8月1日

レデンプトール修道会の創始者である、祈りの人聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士の記念日でした。今年には谷山ではなく、出水の教会で記念ミサを捧げました。その後一行は、近所の出水酒造や薩摩切子の工場を見学して帰途につきました。

8月8日

トマス・アクィナス菊池克朗さんが帰天され、葬儀が行われました。

8月12日

初盆の方のために追悼の祈りが行われました。 その方々は:



ヨゼフ 持増義秀 さん  
F.ザビエル 大徳哲夫 さん  
M.M.・コルベ 有村純孝 さん  
マルタ 浅地怜子 さん  
ヨハネ 久永 孝夫 さん  
ドミニクス・ヨハネス 福崎國行 さん  
十字架の聖ヨハネ  
菊谷嘉巳 さん



**維持費袋**

**「私たちの教会は  
私たちの手で」**

教会維持費を負担することは  
私たち信者の義務です。  
各々の分に応じて捧げましょう。

**教会維持費**

各自が分に応じて毎月一定金額を教会運営・管理と宣教司牧などの経費のために捧げる献金です。初物を捧げる心で月々献金しましょう。

**施設整備費**

聖堂や信徒会館等の建物の修理、設備の拡充、備品の購入などのための献金です。

**神学生養成費**

司祭を目指す神学生の育成のための献金で全額教区へ送金されます。



## ムイベルガ神父のアンテナ

### ヨハネ 23 世と人権

人権における激しい変化が、様々な国で起こっています、特にアメリカにおいて…。教皇ヨハネ 23 世は「パーチェム・イン・テリス」の中で、“市民の公生活への参与”の大切さについて次のように書いています。

#### 市民の公生活への参与

市民が公生活に積極的に参加することが出来るということは、その尊厳に内在する権利である。もともと、この参与の形式は、市民が所属し、その中で行動する政治団体の到達した成熟の段階に、左右される。この参与能力のおかげで、人間には、新たな広汎な奉仕の可能性が開けるのである。為政者は、市民と統治者との間に、接触と対話を頻繁に行わなければならないから、共通善の客観的的要求をもっとよく理解するようになる。他方公共任務の担当者が期間を定めて交代するならば、権威は老朽をまぬかれ、社会の全身に伴った新たな活力を獲得するのである。

#### 時代のしるし

現代の政治的共同体の法的構造の中で、最初に指摘したいのは、人間の基本権の憲章を、明白で簡潔な文章で示そうとする傾向である。この憲章は、しばしば、憲法の中に挿入され、その重要な部分になっている。第二に、憲法の中に、公権担当者たちの指名方法、その相互関係、かれらの権限の区分、活動するにあたって守らな

ければならない手段と方式を、法律用語で規定する傾向がある。最後に、権利義務の用語で、市民と公権との関係がどのようでなければならないかを定めている。権威に対しては、その第一の役目が、市民の権利と義務とを認めて尊重し、その相互間の調整、擁護および発展を保障することであることを指示している。

けれども、人間一個人あるいは社会団体の意志だけが、市民の権利義務を生み、憲法の強制力と公権の権威とを唯一の源泉であるという説は、受け入れることはできない。



しかし、以上指摘した諸傾向が十分に証明しているように、現代の人間は、その尊厳をもっと強く意識するようになってきている。その結果、公生活に積極的に参加するようになっていくし、国家の実定法の規定は、人間の譲渡

することのできない、不可侵の権利を保障することを要求するようになってきている。その上、人々は、公権が、憲法によって定められた手続きを経て構成され、また、その定める限度内においてその権能を発揮することを、要求している。

平成30年 谷山教会9月の予定と祝日表 (9/1~9/30) 西暦2018年

日時	典 礼 と 行 事	朗読奉仕	掃除	班会等
9月1日 (土)	13:00 19:00 AED講習会(ひまわり幼稚園) 年間第22主日のミサ		①	①掃除後教会
<b>2日 (日)</b>	<b>6:30 &amp; 9:00</b> <b>年間第22主日 (被造物を大切にす</b> <b>る世界祈願日)</b>	増田綾、田代		
3日 (月)	記念日 聖グレゴリオ一世 6:30 朝ミサ 19:00 ひまわり幼稚園始園式 納骨堂管理委員会			
4日 (火)	6:30 朝ミサ			
5日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-1			
6日 (木)	6:30 朝ミサ			
7日 (金)	6:30 初金ミサ 頭島神父 大阪へ出張 ~8日			
8日 (土)	祝日 聖マリアの誕生 19:00 年間第23主日のミサ(関根神父)		②③	②③掃除後教会
<b>9日 (日)</b>	<b>6:30 &amp; 9:00</b> <b>年間第23主日</b> ミサ後 教会学校	村山、上原		
10日 (月)	6:30 朝ミサ			
11日 (火)	記念日 福者マリア・セस्ता・クスタローザ 6:30 朝ミサ			
12日 (水)	19:00 水曜ミサ			班会お休み班 ⑧⑨⑩
13日 (木)	記念日 聖ヨハネ・クロストモス司教 6:30 朝ミサ			
14日 (金)	祝日 十字架称賛 6:30 朝ミサ			
15日 (土)	記念日 悲しみの聖母 19:00 年間第24主日のミサ		④	④掃除後教会
<b>16日 (日)</b>	<b>6:30 &amp; 9:00</b> <b>年間第24主日</b> ミサ後 教会学校	田代、増田		
<b>17日 (月)</b>	6:30 朝ミサ			㊦ 国民の祝日(敬老の日)
18日 (火)	6:30 朝ミサ			
19日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 求道者勉強会Ⅲ-2			
20日 (木)	記念日 聖アンデレ金と同志殉教者 6:30 朝ミサ			
21日 (金)	祝日 聖マタイ使徒福音記者 6:30 朝ミサ			
22日 (土)	19:00 年間第25主日のミサ		⑤⑪	⑤⑪掃除後教会
<b>23日 (日)</b>	<b>6:30 &amp; 9:00</b> <b>年間第25主日 (世界難民移住移動者の日)</b> ミサ後 司牧評議会	吉留、源元		
<b>24日 (月)</b>	6:30 朝ミサ			㊧ 国民の振替祝日(秋分の日)
25日 (火)	6:30 朝ミサ			
26日 (水)	記念日 福者カスバル・シュタンガ・シンガー 19:00 水曜ミサ			
27日 (木)	記念日 聖ヒンセンチオ・ア・バウロ司祭 6:30 朝ミサ			
28日 (金)	記念日 聖トマス西と15殉教者 6:30 朝ミサ			
29日 (土)	祝日 聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使 19:00 年間第26主日のミサ		⑥⑦	⑥⑦掃除後教会
<b>30日 (日)</b>	<b>6:30 &amp; 9:00</b> <b>年間第26主日</b> ミサ後 教会学校			
ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	4日、11日、18日、25日		
聖書を学ぶ勉強会 (レミヤ書)	[毎週(水) 10:00]	5日、12日、19日、26日		
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]			
聖書と教理- I	[毎週(木) 15:00~16:30]	6日、13日、20日、27日		
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	13日、20日、27日 6日の第1回はザビエルで7:00から		
聖書と教理- II	[毎週(金) 9:00~10:00]	7日、14日、21日、28日		

奉納は掃除当番班が行う  
九月の行事当番は四班

## 平成 30 年度(2018 年)第 4 回 司牧評議会の報告

2018.8.26 ミサ後開催

## 【審議事項】

1. 納涼の夕べについての反省、意見 (7月29日(日) 18:00 開催)
  - ・出し物が少なかったが、ゆっくり話が出来た。来年も親睦をはかれば良いと思う。
  - ・西日本豪雨災害の後でもあり、収益も少しあったので、班で話し合い、一部を義援金にした。
2. 班制度について(2回目)
  - (1) 前回の多数の意見から班のかたちは変えずに、ルールを変えていく。そこで、まず各班で名簿をチェックする。次回、司牧評議会までに。(姓名・住所の変更、連絡がつかない人、人員等の確認)
  - (2) 班の役割の確認として・・・掃除・行事・葬儀の手伝い等、その他のこと。
    - ・掃除/行事について・・・班の人数が出てから、やり易い方法を次回、考えて行きます。
    - ・葬儀・・・基本はその班の者が受付等を手伝うとしているが、今はレジオ・マリエに依頼している状態。実際問題、遺族との話し合い、当日、当夜の通夜、葬儀の司会進行、また葬儀屋とのやり取りには難しいものがある。その点は冠婚葬祭担当者を育成する必要がある。
3. バザーに向けて・・・10月28日(日)の開催は決まっている。
  - ・次回、司牧評議会までに、各班、出店品目等を決めておきましょう。
  - ・バザーのテーマをしっかりと設定して進めましょう。
  - ・収益金の使途について・・・一部をチャリティとして西日本豪雨災害義援金にする。

## 【日程のお知らせ】

- 9月 3日(月) 19:00 納骨堂委員会  
 5日(水) から 隔週水曜日 19:00 ミサ後 求道者勉強会 第3弾が始まります。  
 7日(金)～8日(土) 主任司祭出張で留守 初金ミサは朝 6:30～に変更  
 9日(日) 9:00 ミサ後 教会学校始まり  
 10日(月) ボスコ神父、帰国日の予定  
 15日(土) 桜川町内会敬老祝賀会のためクレメンスホール使用  
 17日(月) 14:00～ ハイドン協会合唱コンサート  
 23日(日) 9:00 ミサ後 司牧評議会  
 29日(土) 14:00～ 第4回健康講座  
 10月8日(月) 13:00～ 司教叙階式 於:宝山ホール / 祝賀会 於:サンロイヤルホテル  
 参加される方は参加者名簿に記入して下さい。締切9月16日。

## 【報告事項】

- ・ガス管の新設配管工事が27日(月)に終わりました。
- ・玄関ロビーの照明器具の修理も済み、LEDとなり明るくなりました。一部の修理箇所を直す予定です。
- ・加世田教会から献堂式のお礼の文書と葉書が届いています。掲示板に掲示してありますのでご覧ください。
- ・本聖堂の塔上部を調べてもらった結果、無鉄筋の部分が見つかる。地震等で滑落すれば極めて危険。築後40年から50年が経過したことも考慮し、今後は「教会整備委員会」(仮称)を立ち上げ、来年以降検討していく。みんなの教会として共に支えて行く体制をとっていきたい。

## 【その他】

- ・「ヨハネ23世」のDVD鑑賞会はとても素晴らしかった。そこで感想会等を企画し語り合う場がほしい。
- ・主任司祭より・・・ヨハネ23世著「魂の日記」という本があります。共に語り合う場を作ることは大いに勧められます。そのような機会を利用して公会議文書を読むことも勧められます。(\*以上のことが話し合われました)